



(I) 宗教とは

■ 日本の宗教

信仰心の薄い日本でも、パワースポットが流行したり、スポーツの緊迫する場面では手を合わせて祈る観客が多い。宗教を背景とする年中行事や習慣は多く、生活に溶け込んでいるといえる。宗教を人生の拠り所としたり、生きる力や勇気を与えられる人も多く、自己を超えた存在に救いを求める心理は、世界中の誰もが同様に持っている。

★世界の三大宗教

	仏教	キリスト教	イスラム教
創始者	ゴータマ・シッタッタ(仏陀)	1	2
時期	紀元前5世紀ごろ	1世紀はじめ	7世紀はじめ
成立場所	インド東北部	ローマ帝国のパレスチナ	アラビア半島のメッカ
経典	多数の仏典	旧約聖書・新約聖書	3
信者数(2016)	5.2億人	24.5億人	17.5億人

(II) 世界三大宗教

■ 仏教の教え 聖典：仏典(『スッタニパータ』など)

・ブッダが悟ったこと → 「苦が生じる原因は何か。苦を滅ぼす方法は何か。」

●悟った真理を4つにまとめる：[⁴]

- | | |
|-------------------|---------------------------------------|
| ①[⁵] | … 人生には様々な苦悩がある(四苦八苦) |
| ②[⁶] | … 誰にでも 煩惱 があるから苦悩が生じる |
| ③[⁷] | … 修行により苦しみを滅ぼし、悟りを得ることを目指すべき。 |
| ④[⁸] | … 正しい修行(= 八正道)によりこの苦しみから抜け出す！ |

・[⁹]の法 …あらゆるものは相互に依存し合うことによって生じ、変化し続ける
 ↳人々はこれに無知であるがゆえ、心に執着([¹⁰])が生じて苦しむことになる

・修行を実践し、煩惱を打ち消すことで、苦しみの連鎖から解放される(=[¹¹])

・すべての生きものに**慈悲の心**をもって接する ※慈：他者に**楽しみを与える** 悲：他者の**苦しみを取り除く**

仏教は後に、初期の仏陀の教えを重んじる[¹²]仏教と、一切衆生の救済を目指す[¹³]仏教に宗派が分かれ、世界各国に広まっていくこととなる。

■ キリスト教の教え 聖典：『旧約聖書』『新約聖書』

古代のユダヤ教をルーツとして、信仰対象となる唯一神は同じである。(※イスラム教も同じ唯一神を信仰) 預言者が「救世主(メシア)」の到来を説き現れた、イエス・キリストの教えから生まれた宗教である。

- ・神の愛([¹⁴])は無差別・無償の愛であるとして
心から神を愛すること(神への愛)、すべての人に対して無差別で無償の愛を実践すること([¹⁵])
- ・イエスの死後、イエスを救世主(キリスト)とみなし、イエスの教えに従う宗教として誕生

世界最大の宗教で、宗派も多く分かれているが、主に[¹⁶]と[¹⁷]が主流

■ イスラームの教え 聖典：『クルアーン(コーラン)』

キリスト教と同じく、古代のユダヤ教をルーツとして、信仰対象となる唯一神は同じ。
その神[¹⁸]の言葉を受けた預言者ムハンマドが啓示を伝え、イスラーム教として広がりを見せた。

- ・神の啓示をまとめた『コーラン』に示された、神への絶対的帰依や、**六信五行**の宗教的生活を義務付け
六信五行 → **六信**(神/天使/聖典/預言者/来世/天命) **五行**(信仰告白/礼拝/喜捨/断食/巡礼)
- ・宗教と社会を一体化させることを求める
- ・ムハンマドの後継者をめぐる争いから、多数派[¹⁹]と少数派[²⁰]に分かれる

TOPIC🗨️ イスラム教の生活習慣

イスラームでは、ムスリムが日常生活で行うべきことを規定しており、日本での日常生活と異なる部分もある。

- ①**食 事**：豚肉およびアルコールの摂取を禁止
- ②**礼 拝**：水を用いて体を清め、決まった時間に1日5回聖地に向かって祈る
- ③**断 食**：イスラーム暦の9月には夜明けから日の入りまで食事をとらない
- ④**露 出**：ムスリムの女性は家族以外への肌の露出を避けるため、ヒジャブという布によって髪や首を隠す

(Ⅲ) 現代社会と宗教

キリスト教社会となったヨーロッパでは、中世以来ユダヤ教やイスラームとの対立を繰り返してきた。
第二次世界大戦時のユダヤ人差別や、パレスチナ問題によるユダヤ教とイスラーム教の対立など、
宗教的対立を背景とする紛争・差別は後を絶たない。

- ・[²¹]：パレスチナ地域の分割についての争いから、イスラエル建国をめぐる対立が
もたらした戦争。第4次にわたる長期的な戦争で、日本の石油危機などにも影響

- ・**イスラーム過激派組織によるテロ行為** ※一部の過激派組織によるものであり、イスラーム差別に繋げてはならない！

(例) **アメリカ同時多発テロ(2001)**：アメリカの親イスラエ尔的な中東政策に反感をもった過激派組織が
旅客機をハイジャックしてNYの高層ビルなどに次々と衝突した事件

グローバル化が進む現代において、お互いの文化を尊重し合い複数の文化が対等に共存することを目指す
マルチカルチャリズムの考え方が必須になる。



(I) 宗教とは

■ 日本の宗教

信仰心の薄い日本でも、パワースポットが流行したり、スポーツの緊迫する場面では手を合わせて祈る観客が多い。宗教を背景とする年中行事や習慣は多く、生活に溶け込んでいるといえる。宗教を人生の拠り所としたり、生きる力や勇気を与えられる人も多く、自己を超えた存在に救いを求める心理は、世界中の誰もが同様に持っている。

★世界の三大宗教

	仏教	キリスト教	イスラム教
創始者	ゴータマ・シッタッタ(仏陀)	1 イエス・キリスト	2 ムハンマド
時期	紀元前5世紀ごろ	1世紀はじめ	7世紀はじめ
成立場所	インド東北部	ローマ帝国のパレスチナ	アラビア半島のメッカ
経典	多数の仏典	旧約聖書・新約聖書	3 コーラン
信者数(2016)	5.2 億人	24.5 億人	17.5 億人

(II) 世界三大宗教

■ 仏教の教え 聖典：仏典(『スッタニパータ』など)

・ブッダが悟ったこと → 「苦が生じる原因は何か。苦を滅ぼす方法は何か。」

●悟った真理を4つにまとめる：[⁴ **四諦**]

- ①[⁵ **苦諦**]… 人生には様々な苦悩がある(四苦八苦)
- ②[⁶ **集諦**]… 誰にでも**煩悩**があるから苦悩が生じる
- ③[⁷ **滅諦**]… 修行により苦しみを滅ぼし、悟りを得ることを目指すべき。
- ④[⁸ **道諦**]… 正しい修行(=**八正道**)によりこの苦しみから抜け出す！

・[⁹ **縁起**]の法 …あらゆるものは相互に依存し合うことによって生じ、変化し続ける

↳人々はこれに無知であるがゆえ、心に執着([¹⁰ **煩悩**])が生じて苦しむことになる

・修行を実践し、煩悩を打ち消すことで、苦しみの連鎖から解放される(=[¹¹ **解脱**])

・すべての生きものに**慈悲の心**をもって接する ※慈：他者に**楽しみを与える** 悲：他者の**苦しみを取り除く**

仏教は後に、初期の仏陀の教えを重んじる[¹² **上座部**]仏教と、一切衆生の救済を目指す[¹³ **大乘**]仏教に宗派が分かれ、世界各国に広まっていくこととなる。

■ キリスト教の教え 聖典：『旧約聖書』『新約聖書』

古代のユダヤ教をルーツとして、信仰対象となる唯一神は同じである。(※イスラム教も同じ唯一神を信仰) 預言者が「救世主(メシア)」の到来を説き現れた、イエス・キリストの教えから生まれた宗教である。

- ・神の愛([¹⁴ **アガペー**])は無差別・無償の愛であるとして
心から神を愛すること(神への愛)、すべての人に対して無差別で無償の愛を実践すること([¹⁵ **隣人愛**])
- ・イエスの死後、イエスを救世主(**キリスト**)とみなし、イエスの教えに従う宗教として誕生

世界最大の宗教で、宗派も多く分かれているが、主に[¹⁶ **カトリック**]と[¹⁷ **プロテスタント**]が主流

■ イスラームの教え 聖典：『クルアーン(コーラン)』

キリスト教と同じく、古代のユダヤ教をルーツとして、信仰対象となる唯一神は同じ。

その神[¹⁸ **アッラー**]の言葉を受けた預言者**ムハンマド**が啓示を伝え、イスラーム教として広がりを見せた。

- ・神の啓示をまとめた『**コーラン**』に示された、神への絶対的帰依や、**六信五行**の宗教的生活を義務付け
六信五行 → **六信**(神/天使/聖典/預言者/来世/天命) **五行**(信仰告白/礼拝/喜捨/断食/巡礼)
- ・宗教と社会を一体化させることを求める
- ・ムハンマドの後継者をめぐる争いから、多数派[¹⁹ **スンナ派**]と少数派[²⁰ **シーア派**]に分かれる

TOPIC🗨️ イスラム教の生活習慣

イスラームでは、ムスリムが日常生活で行うべきことを規定しており、日本での日常生活と異なる部分もある。

- ①**食事**：豚肉およびアルコールの摂取を禁止
- ②**礼拝**：水を用いて体を清め、決まった時間に1日5回聖地に向かって祈る
- ③**断食**：イスラーム暦の9月には夜明けから日の入りまで食事をとらない
- ④**露出**：ムスリムの女性は家族以外への肌の露出を避けるため、ヒジャブという布によって髪や首を隠す

(Ⅲ) 現代社会と宗教

キリスト教社会となったヨーロッパでは、中世以来ユダヤ教やイスラームとの対立を繰り返してきた。

第二次世界大戦時のユダヤ人差別や、パレスチナ問題によるユダヤ教とイスラーム教の対立など、宗教的対立を背景とする紛争・差別は後を絶たない。

- ・[²¹ **中東戦争**]：パレスチナ地域の分割についての争いから、イスラエル建国をめぐる対立がもたらした戦争。第4次にわたる長期的な戦争で、日本の石油危機などにも影響

- ・**イスラーム過激派組織によるテロ行為** ※一部の過激派組織によるものであり、イスラーム差別に繋げてはならない！

(例) **アメリカ同時多発テロ(2001)**：アメリカの親イスラエ尔的な中東政策に反感をもった過激派組織が旅客機をハイジャックしてNYの高層ビルなどに次々と衝突した事件

グローバル化が進む現代において、お互いの文化を尊重し合い複数の文化が対等に共存することを目指すマルチカルチャリズムの考え方が必須になる。